

放射線発生装置を使用した実験の実験終了報告書

平成 29 年 7 月 13 日

実験番号	E492		実験期間	平成 29 年 6 月 27 日 ~ 平成 29 年 6 月 30 日	
実験課題	Test of a scintillating fiber target for the hypernuclear spectroscopy				
実験 代表者	氏名	金築 俊輔		種類	<input type="checkbox"/> AVF <input checked="" type="checkbox"/> RING
	所属	京都大学理学研究科		放射線発生装置	
	身分	大学院生		加速粒子	p
	email	kanatsuki@scphys.kyoto-u.ac.jp		エネルギー	392 MeV
				最大ビーム電流	10 nA
				ビームライン	WS
管理区域内で放射線作業に従事した実験参加者の被曝記録					
氏名	所属	実験参加期間		線量計番号	実効線量 (μSv)
川畑 貴裕	京都大学	6 月 27 日 ~ 6 月 29 日		1B11	105.2
藤岡 宏之	京都大学	6 月 26 日 ~ 6 月 30 日		1B10	3.3
金築 俊輔	京都大学	6 月 26 日 ~ 7 月 1 日		1002	2.0
津村 美保	京都大学	6 月 26 日 ~ 6 月 30 日		1B42	0
古野 達也	京都大学	6 月 6 日 ~ 6 月 29 日		1004	24
村田 求基	京都大学	6 月 26 日 ~ 7 月 1 日		1001	2
阪上 朱音	京都大学	6 月 6 日 ~ 6 月 30 日		1B14	2.3
七村 拓野	京都大学	6 月 26 日 ~ 7 月 1 日		1B44	0.1
市川 真也	京都大学	6 月 26 日 ~ 6 月 27 日		1B07	0
稲葉 健斗	京都大学	6 月 26 日 ~ 6 月 29 日		1B29	4.3
越川 亜美	京都大学	6 月 6 日 ~ 7 月 3 日		41B31	0
高橋 祐羽	京都大学	6 月 27 日 ~ 7 月 1 日		1B08	0
武田 朋也	京都大学	6 月 27 日 ~ 6 月 30 日		1B43	0
梅崎 英一	京都大学	6 月 26 日 ~ 6 月 30 日		1B17	0
藤川 祐輝	京都大学	6 月 27 日 ~ 6 月 29 日		1B45	7.8
民井 淳	RCNP	6 月 26 日 ~ 6 月 30 日		1B03	119
小林 信之	RCNP	6 月 26 日 ~ 6 月 30 日		1006	116

被曝記録：1日あたり 2 μSv をバックグラウンドとして減算してください。

欄が不足する場合は、別紙添付してください

1. 線源（チェックソースと表示付き認証機器を含む）を使用した場合、それを保管場所に返却し、その鍵を放射線管理室に返却しましたか？
 はい ・ 使用していない（いいえの場合、返却してください）
2. ビームラインから取り外した機器・標的などはありますか？
 ある ・ ない（Q6へ）
3. 取り外した機器等は放射化していますか？
はい（表面線量 $\mu\text{Sv/h}$ 、サーベイメータ形式・S/N：) ・ いいえ（Q6へ）
4. 取り外した機器等は、管理区域内で継続的に使用しますか？
使用する（一時保管場所： 、Q6へ） ・ 使用しない
5. 取り外した機器を放射化物として登録し、放射化物保管設備に保管または廃棄設備に廃棄しましたか？
はい（いいえの場合、放射線管理室で登録して、適切な場所に保管してください）
6. ビームラインから取り外したもの、長期間放射線発生装置使用室内に置かれていたもの、非密封RIを使用する実験で使用したもののうち、管理区域外へ持ち出すものはありますか？
ある ・ ない（Q8へ）
7. 管理区域外へ持ち出すものを放射線管理室員に汚染検査と放射化チェックをしてもらいましたか？
はい（いいえの場合、してもらってください）
8. 実験で発生したゴミ（紙くずなどを含む）はありますか？
はい ・ いいえ（Q12へ）
9. ゴミは、NaI(Tl)サーベイメータで測定（時定数を10秒にして30秒以上測定）しましたか？
（していない場合はしてください。）
測定値： $\mu\text{Sv/h}$ 、サーベイメータ形式・S/N：
10. ゴミは放射化（有意な値が検出される）していますか？
はい（放射線管理室に連絡してください） ・ いいえ
11. 放射化していないゴミは指定された場所に捨てましたか？
 はい ・（いいえの場合は、指定された場所に捨ててください）
12. その他、放射線管理上、特記することがあれば書いてください。
特になし

報告者 所属・氏名

京都大学大学院理学研究科 金築 俊輔

報告者署名

金築 俊輔